

「現代社会をとらえる見方や 考え方」の授業実践例 —「対立」「合意」「効率」「公正」に注目して—

宇都宮大学教育学部附属中学校教諭

小栗英樹

(1) 私たちと現代社会

イ 現代社会をとらえる見方や考え方

この中項目で追究する問い

「よりよい決定の仕方とはどのようなものか」

「なぜきまりが作られるのか」

「私たちにとってきまりとは何だろうか」

「対立」「合意」「効率」「公正」

対立



(提案)



妥当性の判断

- ・ **効率** (無駄がないか)
- ・ **公正** (手続き、機会、結果)



合意

実践事例

① 「クーリングオフとは何だろうか？」

② 「なぜ求人広告は書き替えられたのだろうか？」

← きまりの意義

③ 「ナイル川の水はどのように配分すべきか？」

← 公正とは？

④ 「シングルライダーって不公平じゃない？」

← 効率とは？

⑤ 「清掃活動を改善するためにどのような工夫が必要だろうか？」

← 効率、公正から吟味して対立から合意へ

昼食後の時間をどう使うか？

A

12:50	_____
	昼 食
13:10	_____
	休 憩
13:20	_____
	清 掃
13:35	_____
	昼 休 み
14:00	_____
	第 5 校 時
14:50	_____

B

昼 食

清 掃

昼 休 み

第 5 校 時

ルール

- ・ 15分間は必ず清掃に取り組む。
- ・ 清掃場所は学期に一度交代する
←慣れた清掃場所の方が取り組みやすいので

- ・ 清掃が終了次第、昼休みにしてよい。

時間という貴重な資源に無駄が...

13:10

教室 14人 12分	英語室 10人 10分	保健室 15人 15分	渡り廊下 6人 20分

13:25

二つの清掃のやり方を比較して

○清掃が終わり次第昼休みにすれば、時間が無駄にならない。むしろ、昼休みを長くするためにまじめに取り組んで、自分たちの休み時間を生み出そうとするだろう。

対立

○清掃が終わり次第昼休みでは、清掃の労力を全く同じにすることはできず、公正でない。全員が同じ時間だけ取り組むべき。また、いい加減に取り組む分担場所や個人が現れる心配がある。

授業の流れ

① 自分の考えをまとめる

② 学級全体で議論する

← 友人の考えをもとに自分の考えを吟味する

③ 最終的に自分の考えをまとめる

生徒が考えたこと

- いろいろな意見が出て、必要だと思う時間、人数等がそれぞれ違っていたので、皆が全員納得できるような結論は出なかった。
でも、みんなが昼休みを公平に使えるように、なるべく一人一人の負担が同じくなるように人数調整が必要だと思う。(ⅢOA)
- 清掃は作業終了までがよいと思う。時間で終了にすると、話し合いでも出たように、時間のムダが出てしまう。しかし、作業で終了ならば、人数調整をすれば、時間のムダもなく、「早く終わらせよう」と清掃に活気が出るし、細かいところまでやりたい人たちも心ゆくまで清掃ができる。(ⅢKY)

生徒が考えたこと

- 私は作業が終わり次第終了の方がよいと思う。話し合いでも出たように、人数調整すれば平等になると思う。2、3分の差は仕方ない。また、一つのことを決めるにも効率、公平など多くの視点から考えなければならぬので大変だ。(ⅢTK)
- 公平と効率のどちらをとるか。難しい。しかし、清掃に関する議題だったので効率をとった方が良いのかも。(ⅢMR)
- 公平を重視するか効率を重視するか、人それぞれの考えがあるので完全な合意は難しいと思う。…少しの不公平さを補う努力をし合うことで向上していくものだと思う。(ⅢTS)

生徒が考えたこと

○平等にすること(時間で縛ること)が必ずしもよい方向に向かうとは限らない。←やる気につながるため。「作業を終えたら昼休み、ただし、人数調整をおこなって」の案なら、やる気も出るし、今までかかっていた時間より必ず短くなる。

また、いろいろと話し合いで決めることが本当に大切だということが身にしみた。でも、今の国会は政党同士のいがみ合いみたいで、今日のような柔軟な深めあう議論になっていない気がする。これは私の勝手な意見だが、変わってほしいと思った。(ⅢFK)

○全く反対の「時間で終了」と「作業で終了」だったが、基本は「どこまで公平・効率の問題」の解決だったと思う。

こんな授業を待ってました!!本当の意味で「自分たちのことを自分たちで決める」だったのでとても充実していた。しかし、決められなかったのが心残りだった。(ⅢHT)

この実践の後・・・

- 「中学校学習指導要領解説社会編」p. 102

「なお、ここで**習得**した「見方や考え方」は、これ以降の学習において**活用**するとともに、繰り返し吟味して、さらに広く深く成長させていくことが大切である。」

「行政改革」「規制緩和」とはどのようなことだろうか？

規制緩和後の路線バスの事例から

全体としてよい競争がおこり活性化

効率

規制緩和 → 価格競争 → 企業数減少
本当に生活者、消費者のため？

「100人リストウ」「給与カット」
「バスの事故」「路線の廃止」

価格は下がったが、サービスも低下！

企業は利潤を求めから
過疎地など利潤のあがら
ないところに構って...!

← 国が企業を助けると
よいのでは？

ただし、少数の人が困る → 個別に対応

公正

過疎地域

学生や高齢者
(弱者)

大消費地、
格差

今までのしくみが
支えていた。



実践事例Ⅱ 生徒が考えたこと

○バス会社が公正を考えて過疎地域にバスを走らせても、会社がつぶれてしまうともっと多くの人困るので効率化は止めない方がよいと思う。だから、バスが無くなるとどうしても困るところは、県や市がバスを運営するとよいと思う。(ⅢOA)

○効率を追求することはムダがなくなりよいことだと思う。しかし、効率を優先して皆が納得いくものもあれば、そうでないものもある。効率を優先すると公正さが無くなる。そのため、そのような事業では効率をあきらめて、違うところで効率を目指すことが最良ではないか。

(ⅢHT)

実践事例Ⅱ 生徒作品

○経済が活性化し効率が良くなることは良いことだと思う。けれど、全体だけを重視し、一部(少数)の人々を無視するのは公正ではないと思う。これ以上格差を広げないためにも公正を優先すべきだと思う。(ⅢTK)

○私はバスの規制緩和に反対です。経済は活性化するし良さそうな考えに思いましたが、資料の通り多くの問題を生みますし、公正でなくなります。「最低限度の生活」が侵害されかけているのを放ってはおけない。「今までのしくみに支えられていた地域」だけ支え、その他の地域では効率を重視した方向を続けていくという案を考えました。(ⅢFK)

実践事例Ⅱ 生徒作品

- 都市では民間企業が効率よく仕事し、過疎地では少し効率が悪くても国や地方公共団体が補助し、普通の生活ができるようにすべきだ。(ⅢKY)
- 規制緩和により効率化しても、格差が生まれるのであれば、最低限の公正を守るために国が赤字が生まれる部分だけ保障する必要があると思う。しかし、財源の問題を考えなければならない。(ⅢTS)
- 公正を重視しようとしても、格差が無くなるわけではない。○○君が言ったように、国際競争が激しくなっているので、効率を重視し、政府が公正になるようなしくみを作る必要があると思う。(ⅢMR)